

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	課題研究 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	402
担 当 教 員	専任教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>生体医工学・臨床工学から題材を選び、臨床工学の観点から研究に取り組む。研究活動を通し、実践的な統計処理、理工学的な分析力、問題解決能力を学ぶ。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>学科にて選考を行い評価とする</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>特になし(各班によって異なる)、必要な文献・データ</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>様々な文献を調べ理解し、その理論構築などを習得する</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>様々な文献を調べ理解し、その理論構築などを習得できるようにする</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1～7回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成指導、データ処理指導、研究活動を理解し説明できる	特になし	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理解	
		各コマにおける授業予定	論文作成指導 データ処理指導 研究活動			
第8～10回	演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼン指導、論文作成指導、論文作成指導を理解し説明できる	各班によって異なるが 必要な内容の書籍	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理解	
		各コマにおける授業予定	プレゼン指導 論文作成指導 論文作成指導			
第11～15回	演習形式	授業を通じての到達目標	テーマ選定を行い、実験ができるようになる	各班によって異なるが 必要なデータ	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理解	
		各コマにおける授業予定	テーマ選定と仮説立案			
	演習形式	授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				
	演習形式	授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				